

## 目次

## 注意事項

- 安全上のご注意
- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 本製品で使用している電池について
- 金属バンドの駒詰めについて

## はじめに

- 各部の名称
- 画面の表示
- モードを切り替える
- 時刻モードの表示を切り替える
- 充電する
- 暗い所で時計を見る

## 時刻合わせについて

- 時刻を合わせる

## ワールドタイム

- ワールドタイムを確認する
- ワールドタイム都市を設定する

## アラーム・時報

- アラームをセットする
- 時報をセットする
- アラームや時報を解除する

## ダイビング機能を使う

- 潜水時間を計測する
- 水面休息時間(インターバルタイム)の計測
- ダイビングモードを終了する
- ダイビングログデータを確認する
- ダイビングログデータを消去する

## 潮の干満・月齢

- 現在の潮の干満と月の形を確認する
- 日にちや時刻を指定して潮の干満と月齢を調べる
- 満潮時刻を補正する

## ストップウォッチ

- 計測する
- スプリット計測する
- 1・2着を同時に計測する

## タイマー

- 時間を設定する
- タイマーを使う

## その他の設定

- ボタンの操作音を設定する
- パワーセービング機能を設定する

## 補足

- 都市一覧
- 仕様一覧

## 困ったときは

## 注意事項

### 安全上のご注意

#### 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	<b>危険</b>	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	<b>警告</b>	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	<b>注意</b>	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

#### 絵表示の例



分解禁止

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



⚠記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

## ⚠ 危険

### ●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

### ●スクーバダイビングなどに使用するとき



本機は使用者の安全を保障するものではありません。大気の変動や水温の変化など使用条件によって時計の表示や性能に影響を及ぼす可能性がありますので、ダイビングに使用する場合は必ず他のダイビング機器(残圧計、水深計など)を併用してください。

- 必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてから使用してください
- 本機は減圧計算をする「ダイビングコンピューター」ではありませんあくまでも補助用としてご使用ください
- 飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください
- 表示深度を超える潜水には使用しないでください

## ⚠ 警告

### ●ダイビングを始める前に



時計のすべての機能が正しく動作していることを確認してください。



電池が十分充電してあることを確認してください。

- 充電レベル 2 以上でご使用ください



ダイビング中は、過剰にライトを使用しない。

過剰にライトを使用した場合は、動作保護のためにライトが点灯しなくなり、音が鳴らなくなります。

### ●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。けがの原因となります。

## ⚠ 注意

### ●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

### ●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

## ●データ保護について



データは、必ずノートなどに控えを取る。

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

## ●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



就寝時は時計を外す。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

## ●オートライト作動時のご使用について



オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。

不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

## ご使用上の注意

### ●防水性

- 水深 200m 相当の圧力に耐えます。スキンドビング、スクーバダイビング等にご使用になれます。
- 水中では、リゅうずを操作しないでください。防水性を保てなくなり、故障の原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために、必ず定期的(2年に1回)なパッキン交換を行ってください。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

### ●潜水前のご注意

- 時計のすべての機能が正しく動作していることを確認してください。
- 電池が十分充電してあることを確認してください。
  - 事前に充電レベル2になるまで充電してから、ダイビングにご使用ください。
- ダイビング中は極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯しなくなり、音が鳴らなくなります。
- 時刻が正確にセットされているかを確認してください。
- ガラスにキズ、割れ、クモリなどの異常がないかを確認してください。
- ケースやバンドに破損などの異常がないか、また、バンドが確実に固定されているかを確認してください。

### ●潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないようご注意ください。

### ●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

### ●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

### ●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

### ●磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

## ● 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

## ● 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## ● 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ● 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

## ● 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。  
**ご注意:**  
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

## ● 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

## ● 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

## ● 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

## ● データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## お手入れについて

### ●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

### ●お手入れを怠ると

#### 〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

#### 〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

#### 〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 本製品で使用している電池について

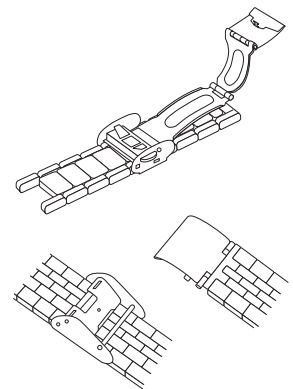
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

## 金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド\*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

\* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)





## はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

### 重要

- 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。
- スキンダイビング、スクーバダイビング等にご使用になれます。  
🕒 **ダイビング機能を使う**

### ● 本製品の特長

#### ● ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

#### ● ダイビング機能

潜水時間、水面休息時間を計測できます。また、ダイビングログの確認や、記録した日時の確認、削除ができます。

#### ● 潮の干満・月齢

日時を指定して、潮の干満や月齢を調べることができます。

#### ● ワールドタイム

世界 31 タイムゾーンの時刻を表示できます。

#### ● アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

#### ● ストップウォッチ

1/100 秒単位で 24 時間まで計測できます。

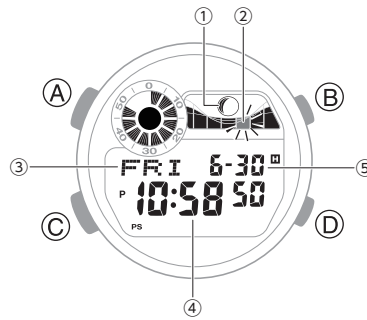
#### ● タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

### 参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

## 各部の名称



- ① ムーングラフ
- ② タイドグラフ
- ③ 曜日
- ④ 時・分・秒
- ⑤ 月・日

#### A ボタン

各モード表示中に 2 秒以上押し続けると、設定画面に切り替わります。

#### B ボタン

押すと、ライトが点灯します。

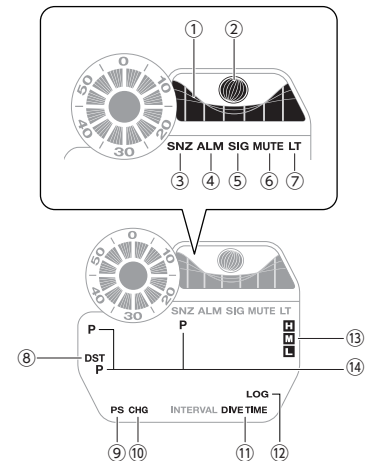
#### C ボタン

押すたびに、モード(機能)が切り替わります。

#### D ボタン

各設定画面を表示中に押すと、設定を変更できます。

## 画面の表示



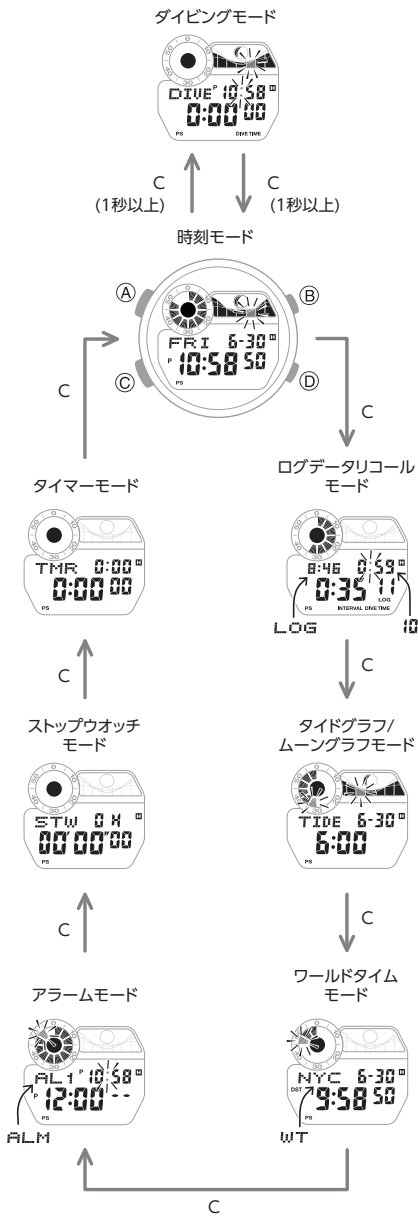
- ① 現在時刻のタイドグラフ(潮の干満)を表示します。
- ② その日のムーングラフ(月の形)を表示します。
- ③ スヌーズアラームがオンのときに点灯します。
- ④ アラームがオンのときに点灯します。
- ⑤ 時報がオンのときに点灯します。
- ⑥ 操作音がオフのときに点灯します。
- ⑦ オートライトがオンのときに点灯します。
- ⑧ サマータイムのときに点灯します。
- ⑨ 節電(パワーセービング)がオンのときに点灯します。
- ⑩ 充電不足のときに点滅します。
- ⑪ ダイビングモードのときに点灯します。
- ⑫ ログデータリコールモードのときに点灯します。
- ⑬ 充電量を表示します。
- ⑭ 12 時間制表示で午後になるときに点灯します。

## モードを切り替える

C ボタンを押すたびに、時計のモードが切り替わります。

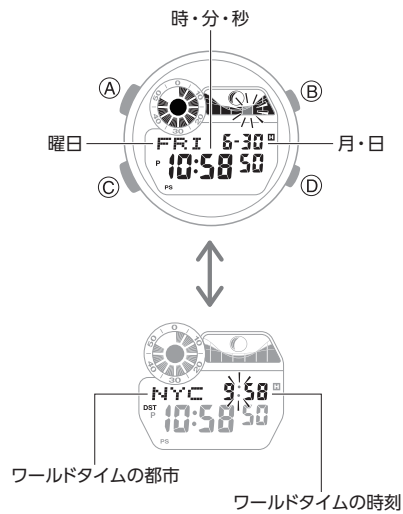
- どのモードからでも\*、C ボタンを 1 秒以上押し続けると、ダイビングモードになります。

\* ダイビングモードを除く



## 時刻モードの表示を切り替える

時刻モードのときに A ボタンを押すと、画面の表示が以下のように切り替わります。

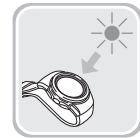


## 充電する

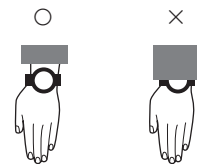
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

### ●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

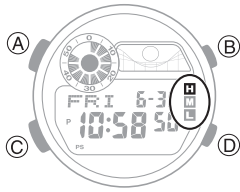


### 重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。以下のような 60°C 以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり高温になる所
- 極端な高温下では液晶パネルが黒く(液晶タイプによっては白く)なることがあります。温度が下がれば正常に戻ります。

## ●充電量を確認する

画面の表示で、充電量を確認できます。



### 充電レベル 1:良好

すべての機能を使えます。



### 充電レベル 2:良好

すべての機能を使えます。



### 充電レベル 3:充電不足

[L]が点滅し、以下の機能が使えなくなります。

- ダイビングモード
- ライト点灯
- 音(アラームなど)



### 充電レベル 4:充電不足

レベル 3 よりも充電量が減ると [CHG] が点滅し、すべての機能が使えなくなります。



## 充電レベル 5:充電切れ

液晶画面の表示が消灯します。また、データがすべて消去され、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

### 重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

### 参考

- [H]、[M]、[L]がすべて点滅しているときは、一時的な電池消耗により、すべての機能が使用できなくなります。  
🔍 [H]、[M]、[L]がすべて点滅している

## ●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

### 1日、使用するに必要な充電時間

光量(ルクス)	充電時間
50,000	4分
10,000	24分
5,000	48分
500	8時間

### 充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	2時間
充電量:中 → 充電量:高	26時間
充電量:高 → 満充電	7時間

- 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	9時間
充電量:中 → 充電量:高	135時間
充電量:高 → 満充電	36時間

- 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	19時間
充電量:中 → 充電量:高	275時間
充電量:高 → 満充電	73時間

- 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

充電切れ → 充電量:中	243時間
充電量:中 → 充電量:高	—
充電量:高 → 満充電	—

### 参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

## ●節電(パワーセービング機能)

午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと画面の表示が消えて、レベル1の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、レベル2の節電状態になります。

節電レベル 1:

画面表示を消して節電します。

節電レベル 2:

画面表示を消して節電します。すべての機能を使用できません。

### 節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く
- 時計を傾けてオートライト機能を作動させる

### 参考

- 時計が以下のときは、節電状態になりません。
  - ダイビングモード
  - ストップウォッチモード
  - タイマーモード
- パワーセービング機能のオン/オフを切り替えることができます。  
🔍 [パワーセービング機能を設定する](#)
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。



## 暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくできます。

### ●手動でライトを点灯させる

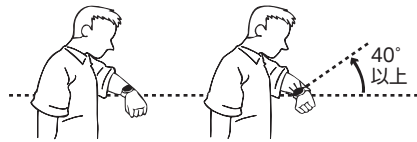
B ボタンを押すと、ライトが点灯します。

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。



### ●自動的にライトを点灯させる

オートライト機能がオンのときは、時計を 40°以上傾けると、ライトが点灯します。



## 重要

- 以下の図のように、時計が水平状態から 15°以上傾いていると、点灯しにくくなります。



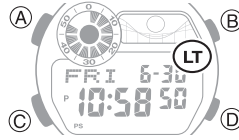
- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。
- ライトを頻繁に使用するとバッテリーの持続時間が短くなります。
- ダイビング中など姿勢によってはオートライトが作動しにくい場合があります。

## 参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
  - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき

## ●オートライト機能を設定する

1. 時刻モードにします。  
○モードを切り替える
2. B ボタンを 3 秒以上押し続け、オートライト機能をオンまたはオフに設定します。
  - オートライト機能をオンにすると、[LT] が点灯します。



## 参考

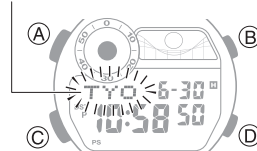
- [CHG] を表示すると、オートライト機能がオフになります。

## ●点灯時間を設定する

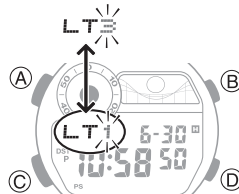
ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。  
○モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

都市コード



3. C ボタンを 10 回押します。  
[LT] が点灯し、[1] または [3] が点滅します。
4. D ボタンを押して、点灯時間を選びます。  
[LT1]: 1.5 秒点灯します。  
[LT3]: 3 秒点灯します。



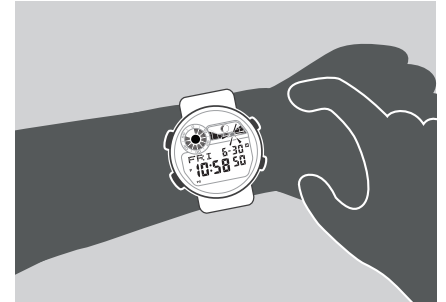
5. A ボタンを押して、設定を終了します。

## 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- ダイビングモードでは、ライト点灯時間は 3 秒に固定されます。

## 時刻合わせについて

日付や時刻を合わせます。



## 時刻を合わせる

日付、時刻、ホーム都市を合わせます。

### ●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

1. 時刻モードにします。  
○モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

都市コード



3. B または D ボタンを押して、ホーム都市を変更します。
  - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
  - ホーム都市については、下記をご覧ください。  
○都市一覧

4. C ボタンを押します。
5. D ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。

- [OFF]  
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]  
常にサマータイムで表示します。



6. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

### ● 日時を設定する

#### 重要

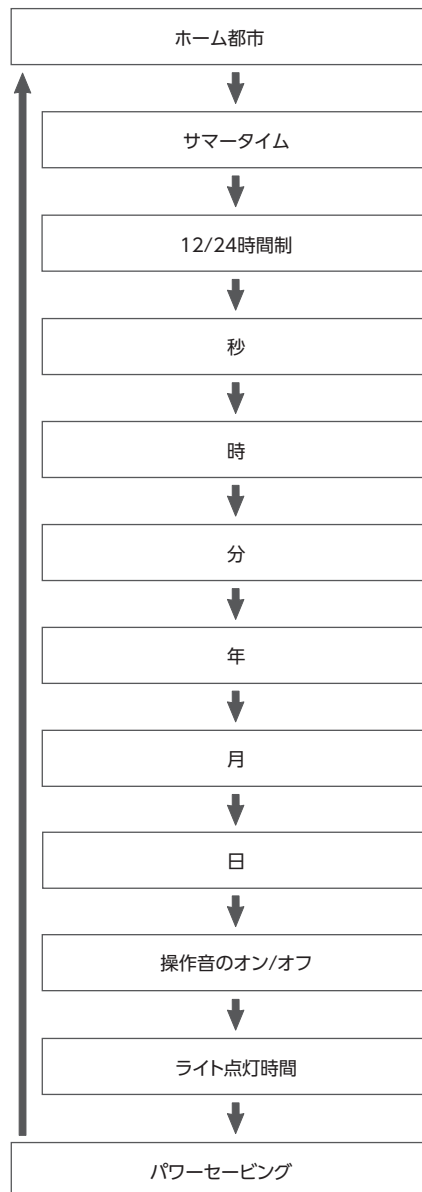
- 時刻と日付を合わせる前に、ホーム都市を設定してください。  
📍 [ホーム都市を設定する](#)

1. 時刻モードにします。  
📍 [モードを切り替える](#)
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

都市コード



3. C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。  
● C ボタンを押すたびに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



4. 日時を変更します。  
● 「秒」を設定する場合: D ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。30~59 秒のときは、1 分繰り上がります。  
● それ以外の値を設定する場合: B または D ボタンで値を変更します。  
B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
5. 手順 3, 4 を繰り返して、日時を設定します。
6. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

### ● 12 時間制/24 時間制を切り替える

時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。  
📍 [モードを切り替える](#)
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

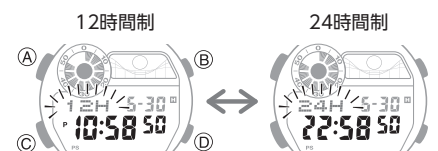
都市コード



3. C ボタンを 2 回押します。  
[12H] または [24H] が点滅します。



4. D ボタンを押して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。



5. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

## ワールドタイム

世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を知ることができます。



### ワールドタイムを確認する

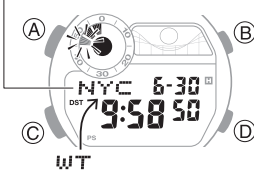
1. ワールドタイムモードにします。

🔄 **モードを切り替える**

ワールドタイムモードに切り替えると、ワールドタイム都市の都市コードを表示します。

- D ボタンを押すと、都市コードが切り替わります。
- 都市コードを UTC (時差 0) にしたいときは、B ボタンと D ボタンを同時に押します。
- 都市コードについては、以下をご覧ください。  
🔗 [都市一覧](#)

都市コード



## ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

1. ワールドタイムモードにします。

🔄 **モードを切り替える**

2. D ボタンを押して、設定する都市コードを表示します。

- D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 都市コードを UTC (時差 0) にしたいときは、B ボタンと D ボタンを同時に押します。
- 都市コードについては、以下をご覧ください。  
🔗 [都市一覧](#)



都市コード

3. サマータイムの設定をする場合は、A ボタンを 2 秒以上押し続けます。

サマータイムを設定すると、[DST] が点灯します。

- A ボタンを 2 秒以上押し続けるたびに、スタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。



### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されません。
- サマータイム設定は、選択している都市に適用します。他の都市には影響しません。

## アラーム・時報

指定した時刻に音でお知らせします。通常のアラームを 4 つ、スヌーズ機能が付いたアラームを 1 つ設定できます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

- スヌーズは、5 分おきに 7 回音が鳴ります。
  - 以下のときは音が鳴りません。
    - 充電不足のとき
    - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)



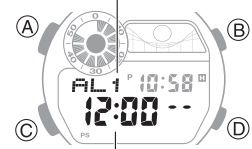
### アラームをセットする

1. アラームモードにします。

🔄 **モードを切り替える**

2. D ボタンを押して、セットしたいアラームの番号 ([1]~[4]、[SNZ]) を表示させます。

アラーム番号



アラーム時刻

3. A ボタンを 2 秒以上押し続けます。

[時] が点滅します。

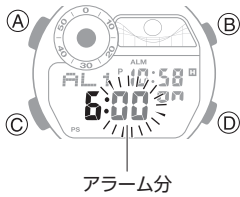


アラーム時

4. B または D ボタンを押して「時」を合わせます。
- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
  - 12 時間制で表示している場合、午後は [P] が表示されます。



5. C ボタンを押します。  
「分」が点滅します。



6. B または D ボタンを押して「分」を合わせます。
7. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

### ●アラーム音を確認するには(モニターアラーム)

アラームモードで D ボタンを押し続けると、押ししている間、アラーム音が鳴ります。

### ●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

スヌーズは、5 分おきに 7 回音が鳴ります。スヌーズを止めるには、[SNZ] を解除してください。

### 🔗アラームや時報を解除する

### 参考

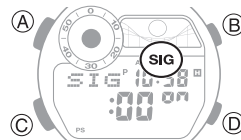
- セットした時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
- アラームモードのとき、何も操作せず 2~3 分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

## 時報をセットする

1. アラームモードにします。  
🔗モードを切り替える
2. D ボタンを押して、時報([SIG])を表示させます。



3. A ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。
  - オンにすると、[SIG] (時報) が点灯します。



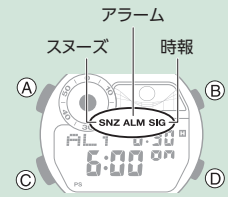
## アラームや時報を解除する

アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

### 参考

- 1 つ以上のアラームまたは時報をオンにすると、該当する表示が点灯します。
- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。



1. アラームモードにします。  
🔗モードを切り替える
2. D ボタンを押して、セットしたいアラームの番号([1]~[4]、[SNZ])を表示させます。

アラーム番号または時報



3. A ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。
  - A ボタンを押すたびに、オンとオフが切り替わります。
  - オフにすると、[ALM] (アラーム) または [SIG] (時報) が消灯します。



### 参考

- [ALM] (アラーム) が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、[ALM] (アラーム) が消灯するまで手順 2, 3 を繰り返してください。

## ダイビング機能を使う

潜水時間や水面休息时间(インターバルタイム)の計測ができます。自動的にダイビングログデータも記録します。ダイビングログは最大 10 本記録できます。11 本目のログを記録すると、一番古いログが消去されます。



- ダイビングログデータで確認できる項目は以下の通りです。
  - 潜水開始日時
  - 潜水時間
  - 水面休息时间

記録したダイビングログデータは、ログデータリコールモードで確認できます。

🕒 [ダイビングログデータを確認する](#)

### 重要

- 充電不足や充電切れの場合は、充電をしてからダイビングにご使用ください。
- 潜水の前に、船上など水上でダイビングモードに切り替えてください。

## 潜水時間を計測する

潜水時間は、1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測できます。

1. ダイビングモードにします。  
🕒 [モードを切り替える](#)
2. D ボタンを押します。

潜水時間の計測を開始します。



3. D ボタンを 1 秒以上押し、潜水時間の計測を終了します。  
水面休息时间の計測を開始します。
4. A ボタンを押して、計測をリセットします。  
●リセットすると、ログデータが記録されます。

### 参考

- 水面休息时间(インターバルタイム)は、計測中は表示されません。ログデータリコールモードで、最新のログデータにだけ表示されます。  
🕒 [ダイビングログデータを確認する](#)
- ダイビングモードで計測を終了した後 C ボタンを 1 秒以上押し続けて時刻モードに戻ったときも、それまでの計測がリセットされます。
- ダイビングモードで潜水時間の計測中に時刻モードに戻っても、内部では計測は続いています。
- ダイビングモードにしてから 11~12 時間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。

## 水面休息时间(インターバルタイム)の計測

反復潜水に備え、潜水時間の計測終了時からの経過時間を水面休息时间として計測する機能です。

水面休息时间は、1 分単位で 48 時間まで計測できます。

1. ダイビングモードにします。  
🕒 [モードを切り替える](#)
2. 以下の操作で計測します。

- ① 潜水1回目スタート
- ↓
- ② 1秒以上  
水面休息1回目スタート
- ↓
- ③ 潜水2回目スタート
- ↓
- ④ 1秒以上  
水面休息2回目スタート
- ⋮

3. 水面休息时间の計測中に A ボタンを押して、計測をリセットします。  
●リセットすると、ログデータが記録されます。

### 参考

- 水面休息时间(インターバルタイム)は、計測中は表示されません。ログデータリコールモードで、最新のログデータにだけ表示されます。  
🕒 [ダイビングログデータを確認する](#)
- ダイビングモードで潜水時間の計測中に時刻モードに戻っても、内部では計測は続いています。
- ダイビングモードにしてから 11~12 時間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。

## ダイビングモードを終了する

ダイビングモードで潜水時間の計測を終了した後、C ボタンを 1 秒以上押し続けると時刻モードに切り替わります。

- 潜水時間の計測中に時刻モードに戻っても、内部では計測は続いています。

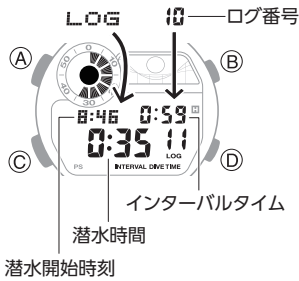


## ダイビングログデータを確認する

1. ログデータリコールモードにします。

☉ **モードを切り替える**

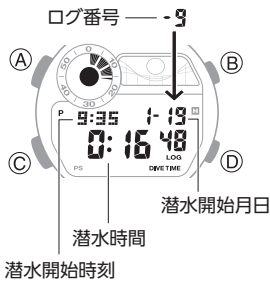
最新のログデータを表示します。



- 最新のログデータにだけ、インターバルタイムを表示します。
- ログデータがないときは、[-:--]を表示します。

2. D ボタンを押します。

D ボタンを押すたびに、新しいログデータから1回ずつさかのぼって確認できます。



- 番号が小さいほど、古いログです。

### 参考

- ダイビングログは最大 10 本記録できます。11 本目のログを記録すると、一番古いログが消去されます。
- ログデータリコールモードで、何も操作せず 1~2 時間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。

## ダイビングログデータを消去する

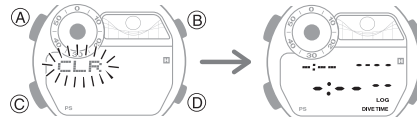
すべてのログデータを消去します。ログデータを個別に消去することはできません。

1. ログデータリコールモードにします。

☉ **モードを切り替える**

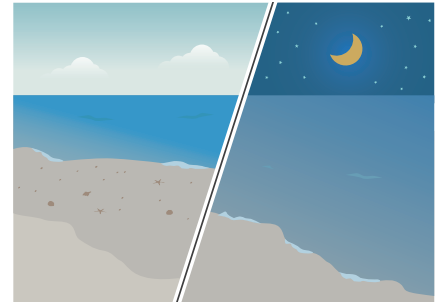
2. A ボタンを 2 秒以上押し続けます。

ダイビングログが消去されます。



## 潮の干満・月齢

ホームタイムを設定している都市の潮の干満や月齢を調べることができます。



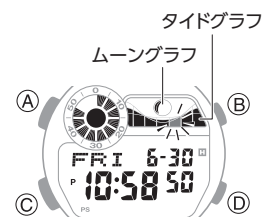
### 重要

- 表示される結果はおおよその目安です。航海などには使用しないでください。
  - 潮の干満や月齢を調べる場合は、あらかじめホーム都市を設定してください。
- ☉ **ホーム都市を設定する**

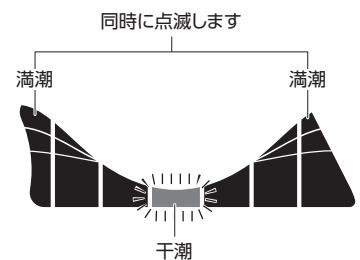
## 現在の潮の干満と月の形を確認する

以下のモードのとき、現在時刻のタイドグラフと、その日の月の形 (ムーングラフ) が表示されます。

- 時刻モード
- タイドグラフ/ムーングラフモード
- ダイビングモード



### ●タイドグラフの見かた

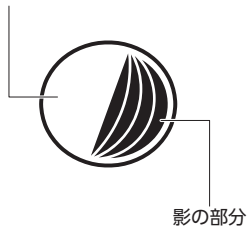


### 潮回り (3つのパターン)



## ●ムーングラフの見かた

月の部分(白い部分)



## ●ムーングラフと月齢の見かた

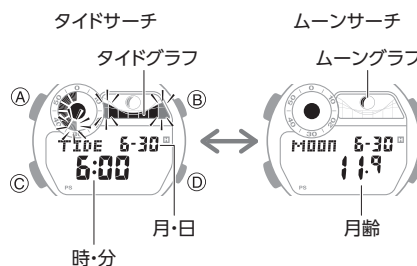
月の形	月齢	表示
新月	0.0~0.9	
	28.7~29.8	
	1.0~2.7	
	2.8~4.6	
上弦	4.7~6.4	
	6.5~8.3	
	8.4~10.1	
	10.2~12.0	
満月	12.1~13.8	
	13.9~15.7	
	15.8~17.5	
	17.6~19.4	
下弦	19.5~21.2	
	21.3~23.1	
	23.2~24.9	
	25.0~26.8	
26.9~28.6		

- 月の形は表示日の「正午」における、おおよその形です。なお、月の左右どちらかが欠けているのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。
- 上の表の「月の形」は、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのものです。南半球や赤道付近で北寄り月に月が見えるときは左右逆に見えます。

## 日にちや時刻を指定して潮の干満と月齢を調べる

日にちや時刻を指定して、潮の干満(タイドグラフ)や月齢を調べることができます。

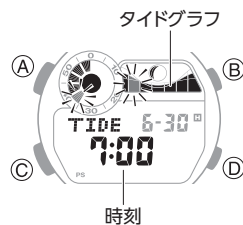
1. タイドグラフ/ムーングラフモードにします。  
 ◯モードを切り替える  
 タイドグラフ/ムーングラフモードに切り替えると、タイドサーチまたはムーンサーチを表示します。
2. A ボタンを押して、タイドサーチとムーンサーチの表示を切り替えます。



- タイドサーチの初期設定は、「午前6時」です。

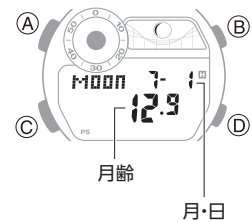
### ●当日の各正時(00分)のタイドグラフを確認する

1. タイドグラフ/ムーングラフモードにします。  
 ◯モードを切り替える
2. A ボタンを押して、タイドサーチを表示します。
3. D ボタンを押して、タイドグラフを確認したい時刻を選びます。  
 ●D ボタンを押すたびに、1時間ずつ進みます。  
 ●D ボタンを押し続けると、早送りできます。

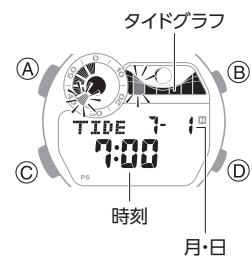


## ●日にちを送って確認する

1. タイドグラフ/ムーングラフモードにします。  
 ◯モードを切り替える
2. A ボタンを押して、ムーンサーチを表示します。
3. D ボタンを押して、月齢を確認したい日にちを選びます。  
 ●D ボタンを押すたびに、1日ずつ進みます。  
 ●D ボタンを押し続けると、早送りできます。



4. A ボタンを押して、タイドサーチを表示します。
5. D ボタンを押して、タイドグラフを確認したい時刻を選びます。  
 ●D ボタンを押すたびに、1時間ずつ進みます。  
 ●D ボタンを押し続けると、早送りできます。



### 参考

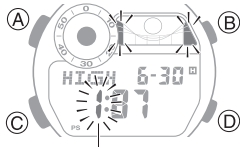
- タイドグラフ/ムーングラフモードのとき、何も操作せず2~3分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

## 満潮時刻を補正する

インターネットや新聞の情報に合わせて時計の満潮時刻を補正すると、より正確な潮の干満を表示できます。

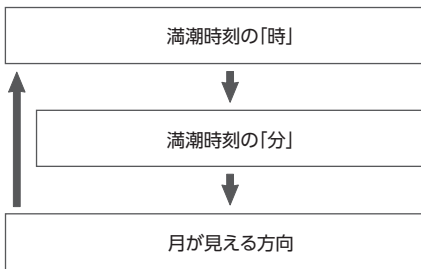
1. タイドグラフ/ムーングラフモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**

2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「タイドグラフの満潮時刻の時」が点滅したら指を離します。



タイドグラフの満潮時刻の時

3. C ボタンを押して、変更する項目を選びます。
  - C ボタンを押すたびに、以下の順番で点滅する項目が切り替わります。



4. 値を設定します。

### ● 「満潮時刻」を設定する場合

B または D ボタンを押して、値を変更します。  
 - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

### 参考

- 満潮時刻を「初期値(工場出荷時の時刻)」に戻したいときは、B ボタンと D ボタンを同時に押します。
- 1 日に 2 回の満潮がある場合は、最初の満潮時刻に合わせてください。2 回目は自動的に計算されます。
- 時刻モードでサマータイムをオンにしても、ここで設定した満潮時刻は変わりません。

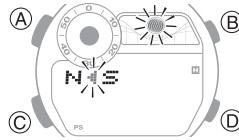
### ● 「月が見える方向」を設定する場合

「北半球(南方向に月が見える)での月の形」を表示するか、「南半球(北方向に月が見える)での月の形」を表示するかを選ぶことができます。

D ボタンを押して、[▶] の向きを変更します。

[N ▶ S]: 南方向に月が見える

[N ◀ S]: 北方向に月が見える



5. 手順 3、4 を繰り返して、満潮時刻を補正します。
6. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

## ストップウォッチ

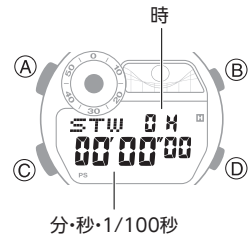
1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測できます。

計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

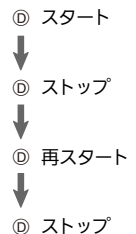


## 計測する

1. ストップウォッチモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**



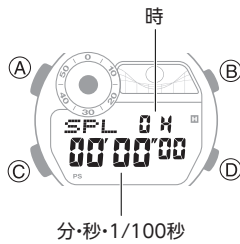
2. 以下の操作で計測します。



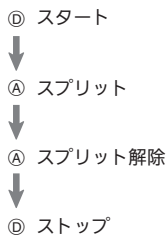
3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

## スプリット計測する

1. ストップウォッチモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**



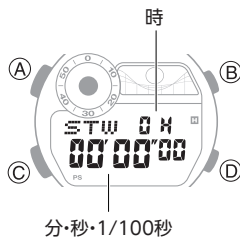
2. 以下の操作で計測します。
  - A ボタンを押すと、その時点までの経過時間(スプリットタイム)が表示されます。



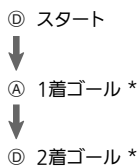
3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

## 1・2 着を同時に計測する

1. ストップウォッチモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**



2. 以下の操作で計測します。



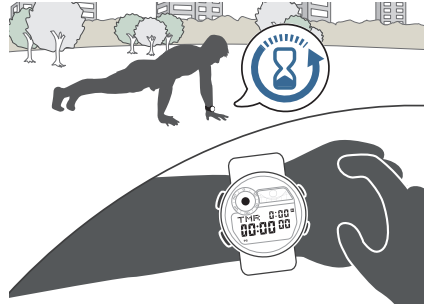
\* 1 着の計測値が表示されます。

3. A ボタンを押して、2 着の計測値を表示します。
4. A ボタンを押して、計測をリセットします。

## タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 充電不足のときは音が鳴りません。

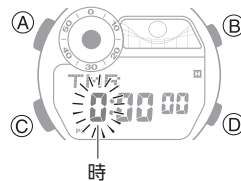


## 時間を設定する

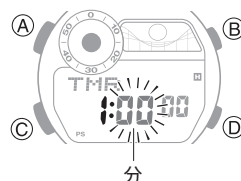
タイマーは、1 分単位で 24 時間まで設定できます。

- タイマーで計測中の場合は、タイマーをリセットしてください。  
🔄 **タイマーを使う**

1. タイマーモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**
2. A ボタンを 2 秒以上押し続けます。  
 「時」が点滅します。



3. B または D ボタンを押して、タイマーの「時」を設定します。
  - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
4. C ボタンを押します。  
 「分」が点滅します。



5. B または D ボタンを押して、タイマーの「分」を設定します。
6. A ボタンを押して、設定を終了します。

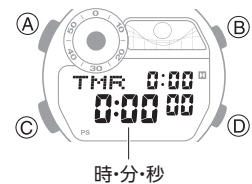
## 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 「0:00」に設定した場合は 24 時間計測になります。

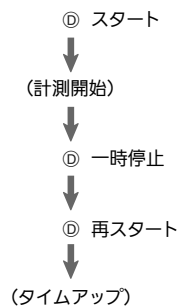
## タイマーを使う

タイマーは、1 秒単位で計測します。

1. タイマーモードにします。  
🔄 **モードを切り替える**



2. 以下の操作で計測します。



- 残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
  - 一時停止中に A ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

## その他の設定

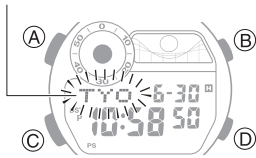
時計の各種設定を変更できます。

### ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

1. 時刻モードにします。  
🔍 [モードを切り替える](#)
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

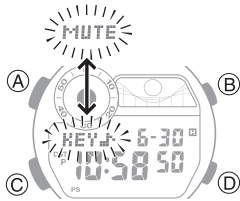
都市コード



3. C ボタンを 9 回押します。  
 [KEY♪] または [MUTE] が点滅します。



4. D ボタンを押して、「KEY♪」または [MUTE] を選びます。  
 [KEY♪]: 操作音が鳴ります。  
 [MUTE]: 操作音は鳴りません。



5. A ボタンを押して、設定を終了します。  
 ● 操作音が鳴らないように設定すると、[MUTE] が表示されます。



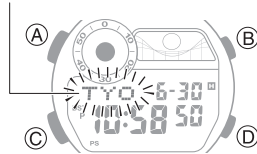
### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

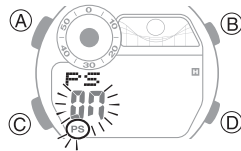
## パワーセービング機能を設定する

1. 時刻モードにします。  
🔍 [モードを切り替える](#)
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「都市コード」が点滅したら指を離します。

都市コード



3. C ボタンを 11 回押します。  
 [PS] が表示されます。



4. D ボタンを押して、オンとオフを切り替えます。  
 [On]: パワーセービング機能がオンになります。  
 [OFF]: パワーセービング機能がオフになります。
5. A ボタンを押して、設定を終了します。

### 参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- パワーセービング機能については、下記を参照してください。  
🔍 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)

## 補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

### 都市一覧

都市	協定世界時	UTC からの時差
UTC	協定世界時	
LIS	リスボン	0
LON	ロンドン	
MAD	マドリード	
PAR	パリ	
ROM	ローマ	+1
BER	ベルリン	
STO	ストックホルム	
ATH	アテネ	
CAI	カイロ	+2
JRS	エルサレム	
MOW	モスクワ	+3
JED	ジェッダ	
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
KTM	カトマンズ	+5.75
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
SIN	シンガポール	
HKG	香港	+8
BJS	北京	
TPE	台北	
SEL	ソウル	+9
TYO	東京	
ADL	アデレード	+9.5
GUM	グアム	+10
SYD	シドニー	
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレジ	-9
YVR	バンクーバー	
LAX	ロサンゼルス	-8
YEA	エドモントン	
DEN	デンバー	-7



都市		UTC からの時差
MEX	メキシコシティ	-6
CHI	シカゴ	-5
NYC	ニューヨーク	-5
SCL	サンティアゴ	-4
YHZ	ハリファックス	-4
YYT	セントジョンズ	-3.5
RIO	リオデジャネイロ	-3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ	-2
RAI	プライア	-1

- この表は 2022 年 1 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。

## 仕様一覧

### 精度：

平均月差 ± 15 秒

### 基本機能：

時・分・秒・月・日・曜日  
 午前/午後 (P) / 24 時間制表示  
 フルオートカレンダー (2000~2099 年) \*  
 \* 年は設定時のみ表示  
 サマータイム設定

### ダイビング機能：

潜水時間  
 計測単位 1 秒  
 計測範囲 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間)  
 インターバルタイム  
 計測単位 1 分  
 計測範囲 47 時間 59 分 (48 時間)  
 ログメモリー 10 本 (潜水開始月日および時刻、潜水時間、インターバルタイム)

### タイドグラフムーングラフ機能：

タイドグラフ表示 (潮回り表示付き)  
 月の形表示  
 日付選択機能  
 時刻選択機能 (タイドグラフのみ)

### ワールドタイム機能：

世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を表示  
 サマータイム設定機能

### アラーム機能：

時刻アラーム  
 アラーム数 5 本 (うち、スヌーズ 1 本)  
 セット単位 時・分  
 アラーム報音時間 10 秒間  
 時報 毎正時に電子音で報知

### ストップウォッチ機能：

計測単位 1/100 秒  
 計測範囲  
 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間)  
 計測機能  
 通常計測、スプリット計測、1・2 着同時計測

### タイマー機能：

計測単位 1 秒  
 計測範囲 24 時間  
 セット単位 1 分  
 タイムアップ時 10 秒間の電子音で報知

### その他：

高輝度 LED ライト (フルオートライト、残照機能、残照時間切り替え (1.5 秒/3 秒))、パワーセービング機能、充電量の表示 (バッテリーインジケーター)、操作音オン/オフ

### 使用電池：

二次電池  
 持続時間 約 14 か月  
 使用条件：  
 光に当てないで、以下を使用

- ライト 1.5 秒間/日
- アラーム 10 秒間/日
- 表示点灯 18 時間/日
- ダイビング機能  
 - ダイビング回数: 50 回/年  
 - ダイビング時間: 60 分/回

ただし、ライト使用条件やダイビングモードでの潜水時間により、持続時間が短くなることがあります。

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

## 困ったときは

### ワールドタイム

**Q1** 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定 (スタンダードタイム/サマータイム) が正しくありません。  
 🔗 [ワールドタイム都市を設定する](#)

### ダイビング機能

**Q1** ダイビングモードに切り替わらない

充電不足や充電切れの場合は、ダイビングモードに切り替わりません。事前に充電をしてからダイビングにご使用ください。

**Q2** 潜水時間の計測から水面休憩時間の計測に切り替えると時刻モードになった

ダイビングモード中に充電不足になると、水面休憩時間の計測ができません。事前に充電をしてからダイビングにご使用ください。

**Q3** 時刻モードからダイビングモードに切り替えたら、計測中になっている

前回の計測が継続中です。ダイビングモードで計測をリセットしてください。  
 🔗 [潜水時間を計測する](#)

### 潮の干満

**Q1** 潮汐情報に誤差がある

タイドグラフの満潮干潮時刻、潮位は過去のデータをもとに計算しているため実際の潮汐情報とは誤差が生じます。

また、地形や天候などの条件でも誤差が変動することもありますので、あくまで目安としてお使いください。

航海など危険を左右する潮汐の判断材料には使用せずに、各種機関が発信している正確な潮汐予測情報を確認してください。

## アラーム・時報

### Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する](#)

上記以外

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

☞ [アラームをセットする](#)

### Q2 時報が鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する](#)

上記以外

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

☞ [時報をセットする](#)

## 充電

### Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電量を確認する](#)

### Q2 [H]、[M]、[L]がすべて点滅している

充電回復モードです。回復するまで(約 15 分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

- アラーム・時報、ライトの点灯などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。一時的に使用できる機能が制限されますが、回復後は制限が解除されます。

☞ [充電量を確認する](#)



### Q3 [CHG]が点滅している

充電量が著しく低下しています。すぐに、光に当てて充電してください。

☞ [充電量を確認する](#)

## その他

### Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>